

b 地域の特性を生かした学習に関する見学・体験学習プログラム

郡山市・日大工学部再生可能エネルギー共同研究施設（地中熱利用）、東京電力猪苗代第二発電所に係る見学・体験学習プログラム		
作成推進校	福島県立福島高等学校	
対象児童・生徒	第一学年	
事前学習	計画	<ul style="list-style-type: none"> ○書籍、インターネットを利用して事前の調査を行い、地中熱・水力発電の仕組みと、その特徴を知る。 ○見学先施設の特徴を調べ、疑問点をまとめる。 ○各自で見学のテーマを設定し、目的を明確にして見学に臨む。
	期待できる成果	地中熱利用についてはまだ認知度が低いことから、自らが今後の活用法や研究を考える上で最適な事例である。また、目的を明確にすることで主体的な参加を促すことができる。
見学・体験学習	計画	<ul style="list-style-type: none"> ○地中熱 地中熱の利用に関する研究施設を見学し、地熱との違いを理解しながら地中熱利用が果たす役割を知る。 ○水力発電 水力発電の仕組みを知り、発電所の立地条件やメリット・デメリットを学び、福島県の特徴的な発電形態であることを理解する。
	期待できる成果	設備の規模を間近で体験することができる。質疑応答を通して、自分のテーマの疑問点を解決し、より高度な観点から再生可能エネルギーを捉えることができる。
事後学習	計画	<ul style="list-style-type: none"> ○当日の質疑応答の結果や写真などを盛り込んで各自がレポートにまとめる。 ○班ごとにパワーポイントにまとめ、全体で発表を行い、各訪問先で得られた情報の共有を行う。 ○SSH校内研究発表会で発表を行い、保護者や地域の方々、他校との生徒達との意見交換を行う。
	期待できる成果	生徒一人ひとりが、今後のエネルギーの在り方について考える契機となり、意見をまとめて発表することで、学習をより深めることができる。